

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 9 月 28 日 (2017.9.28)

【公表番号】特表 2016-534199 (P2016-534199A)

【公表日】平成 28 年 11 月 4 日 (2016.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2016-062

【出願番号】特願 2016-536492 (P2016-536492)

【国際特許分類】

C 0 9 K 11/61 (2006.01)

C 0 9 K 11/08 (2006.01)

H 0 1 L 33/50 (2010.01)

F 2 1 V 9/16 (2006.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

C 0 9 K 11/61

C 0 9 K 11/08 G

H 0 1 L 33/50

F 2 1 V 9/16 1 0 0

F 2 1 Y 115:10 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 8 月 15 日 (2017.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

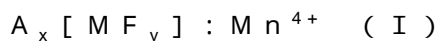
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次の式 I



(式中、A は Li、Na、K、Rb、Cs、R₄ 又はそれらの組合せであり、M は Si、Ge、Sn、Ti、Zr、Al、Ga、In、Sc、Y、La、Nb、Ta、Bi、Gd 又はそれらの組合せであり、R は H、低級アルキル又はそれらの組合せであり、x は 1、2 又は 3 であって [M F_y] イオンの電荷の絶対値であり、y は 5、6 又は 7 である。) の M n⁴⁺ ドープ蛍光体の色安定性を改善する方法であって、式 I の蛍光体をヘキサフルオロケイ酸を含む溶液で処理する工程と、未処理の蛍光体に比べて色安定性が改善された処理後の蛍光体を単離する工程とを含む方法。

【請求項 2】

溶液が式 A_x [M F_y] の塩をさらに含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

溶液がフッ化水素酸を含まない、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

溶液がフッ化水素酸をさらに含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

蛍光体を高温でフッ素ガスに曝すことをさらに含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

M が Si、Ge、Sn、Ti、Zr 又はそれらの組合せである、請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

Mn⁴⁺ドープ蛍光体がK₂SiF₆:Mn⁴⁺である、請求項1記載の方法。

【請求項 8】

式K₂SiF₆:Mn⁴⁺の複合フッ化物化合物の色安定性を改善する方法であって、蛍光体をヘキサフルオロケイ酸を含む溶液で処理する工程と、未処理の式K₂SiF₆:Mn⁴⁺の蛍光体に比べて色安定性が改善された処理後の式K₂SiF₆:Mn⁴⁺の蛍光体を単離する工程とを含む方法。

【請求項 9】

溶液がK₂SiF₆をさらに含む、請求項8記載の方法。

【請求項 10】

溶液がフッ化水素酸を含まない、請求項8記載の方法。

【請求項 11】

溶液がフッ化水素酸をさらに含む、請求項8記載の方法。

【請求項 12】

蛍光体を高温でフッ素ガスに曝すことをさらに含む、請求項8記載の方法。